



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月30日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 TEL (03) 3231-6811
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,246	12.5	1,126	△1.0	1,223	3.7	686	△2.4
24年3月期第1四半期	11,776	3.5	1,137	△36.9	1,179	△36.8	703	△27.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	24 26	—
24年3月期第1四半期	24 87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	85,670	75,986	88.7
24年3月期	87,734	75,832	86.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 75,986百万円 24年3月期 75,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		20 00	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,900	6.5	2,100	△49.4	2,200	△49.3	1,200	△54.0	42 40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2013年3月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	28,800,000株	24年3月期	28,800,000株
25年3月期1Q	498,744株	24年3月期	498,701株
25年3月期1Q	28,301,263株	24年3月期1Q	28,301,694株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは平成24年7月30日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(4) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 研究開発活動	2
(4) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第1四半期累計期間】	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の売上高は、本年4月に実施された薬価改定の影響を受ける中、13,246百万円と前年同期に比べ1,470百万円(12.5%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は2,972百万円と前年同期に比べ715百万円(31.7%)増加したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は2,849百万円と前年同期に比べ573百万円(25.2%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は5,703百万円と前年同期に比べ868百万円(18.0%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により6,417百万円と前年同期に比べ613百万円(10.6%)増加しました。

以上の結果、営業利益は1,126百万円と前年同期に比べ10百万円(1.0%)減少しましたが、経常利益は1,223百万円と前年同期に比べ43百万円(3.7%)増加しました。四半期純利益につきましては686百万円と前年同期に比べ17百万円(2.4%)減少しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、85,670百万円と前事業年度末に比べ2,063百万円(2.4%)減少しました。これは、受取手形及び売掛金が622百万円増加しましたが、キャッシュ・マネジメント・システム預託金が1,372百万円、現金及び預金が974百万円、商品及び製品が816百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、9,684百万円と前事業年度末に比べ2,217百万円(18.6%)減少しました。これは、未払法人税等が1,176百万円、賞与引当金が553百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、75,986百万円と前事業年度末に比べ153百万円(0.2%)増加しました。これは、主に利益剰余金が120百万円増加したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は1,850百万円であります。

(4) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回発表(平成24年4月26日「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,106	24,132
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	6,276	4,903
受取手形及び売掛金	19,580	20,202
有価証券	11,200	11,805
商品及び製品	4,271	3,454
仕掛品	440	584
原材料及び貯蔵品	1,631	1,779
その他	1,846	1,891
流動資産合計	70,352	68,753
固定資産		
有形固定資産	5,297	5,539
無形固定資産	704	689
投資その他の資産	11,380	10,688
固定資産合計	17,382	16,917
資産合計	87,734	85,670
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,717	4,457
未払法人税等	1,706	530
賞与引当金	1,156	603
役員賞与引当金	59	13
返品調整引当金	2	0
その他	3,588	3,500
流動負債合計	11,231	9,105
固定負債		
退職給付引当金	161	76
その他	509	502
固定負債合計	670	579
負債合計	11,902	9,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	64,876	64,997
自己株式	△857	△857
株主資本合計	75,624	75,745
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	208	241
評価・換算差額等合計	208	241
純資産合計	75,832	75,986
負債純資産合計	87,734	85,670

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	11,776	13,246
売上原価	4,834	5,703
売上総利益	6,941	7,543
販売費及び一般管理費		
販売促進費	865	826
給料及び手当	1,136	1,154
賞与引当金繰入額	487	507
研究開発費	982	1,850
その他	2,331	2,077
販売費及び一般管理費合計	5,803	6,417
営業利益	1,137	1,126
営業外収益		
受取利息	29	29
受取配当金	15	57
為替差益	—	5
その他	4	6
営業外収益合計	49	97
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	6	—
その他	0	0
営業外費用合計	7	1
経常利益	1,179	1,223
特別損失		
固定資産除却損	0	19
ゴルフ会員権評価損	—	6
災害による損失	28	—
特別損失合計	29	26
税引前四半期純利益	1,150	1,197
法人税等	446	510
四半期純利益	703	686

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期会計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。



2013年3月期 第1四半期決算 参考資料

1	サマリー情報	P.1
2	2013年3月期 第1四半期実績	P.2
	① 四半期損益計算書	P.2
	② 製商品別・領域別売上高	P.4
	③ 四半期貸借対照表	P.5
	④ 設備投資の状況	P.6
	⑤ 非資金項目	P.6
	⑥ 研究開発の状況	P.6
3	2013年3月期 業績予想	P.7
	① 損益計算書	P.7
	② 製商品別・領域別売上高	P.9
	③ 設備投資の状況	P.10
	④ 非資金項目	P.10
	⑤ 配当	P.10

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てて表示しております。

2012年7月30日



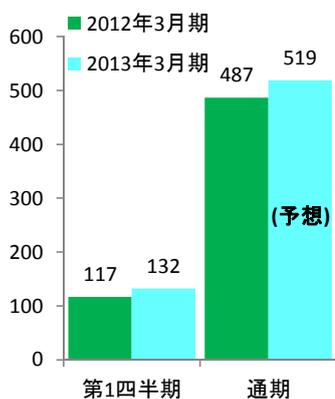
鳥居薬品株式会社

1. サマリー情報

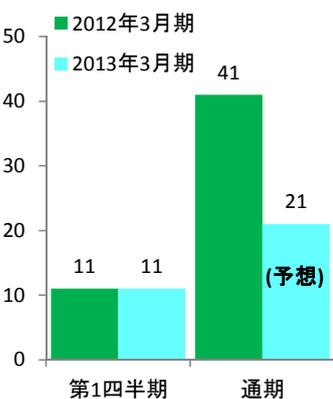
①経営成績

(単位:百万円)	2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	増減	増減率 (%)	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期予想	対予想 進捗率(%)
売上高	11,776	13,246	1,470	12.5	48,717	51,900	25.5
営業利益	1,137	1,126	△10	△1.0	4,153	2,100	53.6
経常利益	1,179	1,223	43	3.7	4,338	2,200	55.6
四半期(当期)純利益	703	686	△17	△2.4	2,611	1,200	57.2
(参考)							
研究開発費	982	1,850	867	88.3	4,631	7,957	23.3
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 24.87	24.26	△0.61		92.27	42.40	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 0.9	0.9	0.0		3.5	—	
総資産経常利益率	(%) 1.4	1.4	0.0		5.0	—	
売上高営業利益率	(%) 9.7	8.5	△1.2		8.5	—	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.8	0.8	0.0		3.0	—	

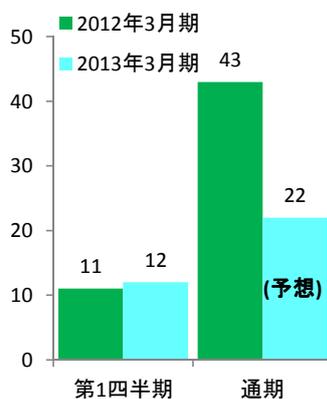
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



四半期(当期)純利益 (億円)



②財政状態

(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期 第1四半期	増減	増減率 (%)
総資産	87,734	85,670	△2,063	△2.4
純資産	75,832	75,986	153	0.2
自己資本比率	(%) 86.4	88.7	2.3	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,679.48	2,684.92	5.44	

2. 2013年3月期 第1四半期実績

① 四半期損益計算書

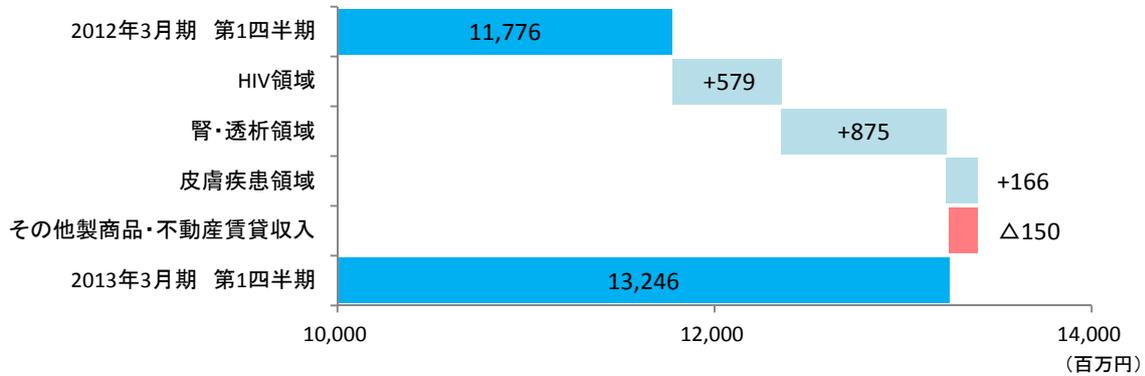
(単位:百万円)	2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	11,776	13,246	1,470	12.5
製商品売上高	11,719	13,189	1,470	12.5
HIV領域	2,401	2,980	579	24.1
腎・透析領域	2,574	3,450	875	34.0
皮膚疾患領域	2,886	3,052	166	5.8
その他	3,856	3,705	△150	△3.9
不動産賃貸収入	57	57	0	0.4
売上原価	4,834	5,703	868	18.0
製商品売上原価	4,818	5,687	869	18.0
不動産賃貸原価	16	15	△0	△5.5
売上総利益	6,941	7,543	602	8.7
販売費及び一般管理費	5,803	6,417	613	10.6
販管費(研究開発費除く)	4,821	4,566	△254	△5.3
研究開発費	982	1,850	867	88.3
営業利益	1,137	1,126	△10	△1.0
営業外収益	49	97	47	—
営業外費用	7	1	△6	—
経常利益	1,179	1,223	43	3.7
特別損失	29	26	△3	—
税引前四半期純利益	1,150	1,197	46	4.1
法人税等	446	510	64	14.4
四半期純利益	703	686	△17	△2.4

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	増減
売上原価	41.1	43.1	2.0
販売費及び一般管理費	49.2	48.4	△0.8
研究開発費	8.3	14.0	5.7
営業利益	9.7	8.5	△1.2
経常利益	10.0	9.2	△0.8
四半期純利益	6.0	5.2	△0.8

【対前年同期実績増減要因】

売上高（13,246百万円 対前四半期+1,470百万円）



主な増減要因

HIV領域	: ツルバダ配合錠	+573百万円
腎・透析領域	: レミッチカプセル	+715百万円
	: ケイキサレート	+160百万円
※詳細はP4「②製商品別・領域別売上高」を参照		

営業利益（1,126百万円 対前四半期△10百万円）



主な増減要因

売上原価	: 売上高の増加
販管費(研究開発費除く)	: 消耗品費の減少
研究開発費	: 臨床試験費用 (TO-203) の増加

経常利益（1,223百万円 対前四半期+43百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（686百万円 対前四半期△17百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別・領域別売上高

a. 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
製商品売上高	11,719	13,189	1,470	12.5
レミッチカプセル 経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]	2,256	2,972	715	31.7
ツルバダ配合錠 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]	2,276	2,849	573	25.2
アンテベート ※ 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]	1,658	1,745	87	5.3
注射用フサン ※ 蛋白分解酵素阻害剤 [その他]	1,228	1,131	△96	△7.9
ユリノーム錠 ※ 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [その他]	820	762	△57	△7.0
ドボネックス軟膏 尋常性乾癬治療剤 [皮膚疾患領域]	477	523	45	9.5
ケイキサレート ※ 高カルシウム血症改善剤 [腎・透析領域]	317	478	160	50.4
ビオスリー 活性生菌製剤(整腸剤) [その他]	407	459	52	12.8
ゼフナート 抗真菌薬 [皮膚疾患領域]	381	406	25	6.6
ロコイド ※ 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]	368	376	7	2.1
マグセント 切迫早産における子宮収縮抑制剤 [その他]	275	322	47	17.4
その他製商品	1,250	1,160	△90	△7.2

※ 自社品

b. 領域別売上高

(単位: 百万円)	2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
製商品売上高	11,719	13,189	1,470	12.5
HIV領域 〔ツルバダ配合錠、その他HIV治療薬〕	2,401	2,980	579	24.1
腎・透析領域 〔レミッチカプセル、ケイキサレート〕	2,574	3,450	875	34.0
皮膚疾患領域 〔アンテベート、ドボネックス軟膏、ゼフナート、ロコイド〕	2,886	3,052	166	5.8
その他 〔注射用フサン、ユリノーム錠、ビオスリー、マグセント、その他製商品〕	3,856	3,705	△150	△3.9

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	増減	増減率 (%)
自社品売上高	4,896	5,005	108	2.2
自社品比率 (%)	41.8	37.9	△3.9	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
流動資産	70,352	68,753	△1,598	△2.3	80.3
現金及び預金	25,106	24,132	△974		
CMS預託金 ※	6,276	4,903	△1,372		
受取手形及び売掛金	19,580	20,202	622		
有価証券	11,200	11,805	605		
たな卸資産	6,342	5,818	△524		
その他	1,846	1,891	44		
固定資産	17,382	16,917	△465	△2.7	19.7
有形固定資産	5,297	5,539	242	4.6	
無形固定資産	704	689	△15	△2.2	
投資その他の資産	11,380	10,688	△692	△6.1	
投資有価証券	6,392	5,827	△564		
長期前払費用	2,750	2,606	△143		
その他	2,238	2,254	16		
資産合計	87,734	85,670	△2,063	△2.4	100.0
流動負債	11,231	9,105	△2,126	△18.9	10.6
買掛金	4,717	4,457	△260		
未払法人税等	1,706	530	△1,176		
賞与引当金	1,156	603	△553		
その他	3,650	3,514	△135		
固定負債	670	579	△91	△13.6	0.7
負債合計	11,902	9,684	△2,217	△18.6	11.3
株主資本	75,624	75,745	120	0.2	88.4
評価・換算差額等	208	241	33	15.9	0.3
純資産合計	75,832	75,986	153	0.2	88.7
負債純資産合計	87,734	85,670	△2,063	△2.4	100.0

※ 「CMS (キャッシュ・マネージメント・システム) 預託金」は、JTグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

主な増減要因	
(流動資産)	
現金及び預金、CMS預託金	: 法人税等、夏季賞与、配当金の支払による減少
受取手形及び売掛金	: 売上高の増加による増加
有価証券	: 投資有価証券からの振替による増加
たな卸資産	: 商品及び製品在庫の減少
(固定資産)	
投資有価証券	: 有価証券への振替による減少
(流動負債)	
未払法人税等	: 法人税等の支払による減少
賞与引当金	: 夏季賞与の支払による減少
(純資産)	
株主資本	: 四半期純利益による増加、配当金の支払による減少

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率 (%)
	第1四半期	第1四半期		
設備投資額	200	495	295	147.5
有形固定資産	161	462	301	186.9
無形固定資産	39	32	△6	△15.5

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に製造設備への投資

無形固定資産：主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率 (%)
	第1四半期	第1四半期		
減価償却費	287	248	△38	△13.5
長期前払費用償却費	166	149	△17	△10.2

⑥ 研究開発の状況

開発番号	予定適応症等	剤形	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751	高リン血症	経口剤			Phase III 実施中			・ケリックス社と日本における独占的 開発・商業化権に関するライセンス契 約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発
アレルギー領域								
TO-194SL	スギ花粉を抗原とするアレルギー疾 患 (減感作 (免疫) 療法薬)	舌下エキス			Phase III 実施中			・自社開発
TO-203	ダニを抗原とするアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作 (免疫) 療法薬)	舌下錠			Phase II/III 準備中			・ALK社と日本における独占的開 発・販売権に関するライセンス契約を 締結 ・自社開発
TO-204	ダニを抗原とするアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作 (免疫) 療法薬)	注射剤			Phase III 準備中			・ALK社と日本における独占的開 発・販売権に関するライセンス契約を 締結 ・自社開発

3. 2013年3月期 業績予想（予想修正無し）

① 損益計算書

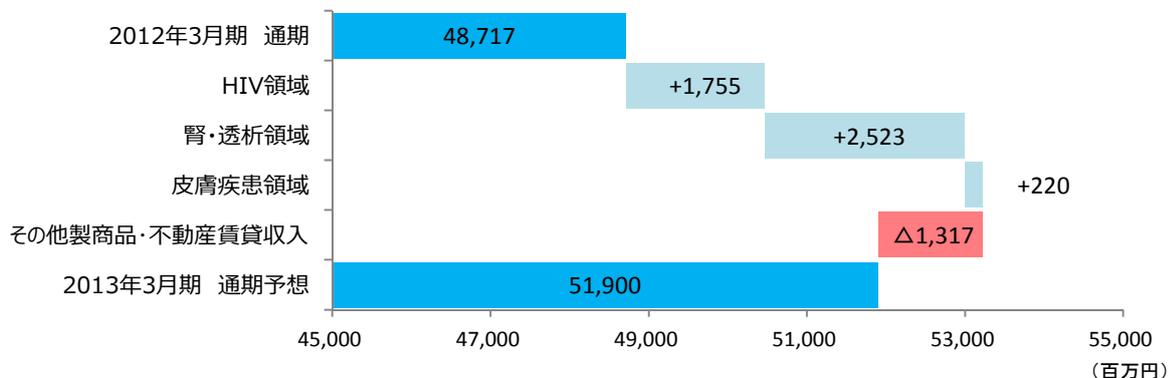
(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率 (%)
	通期	通期予想		
売上高	48,717	51,900	3,182	6.5
製商品売上高	48,489	51,680	3,190	6.6
HIV領域	10,474	12,230	1,755	16.8
腎・透析領域	11,276	13,800	2,523	22.4
皮膚疾患領域	11,139	11,360	220	2.0
その他	15,599	14,290	△1,309	△8.4
不動産賃貸収入	228	220	△8	△3.7
売上原価	20,539	22,700	2,160	10.5
売上総利益	28,178	29,200	1,021	3.6
販売費及び一般管理費	24,024	27,100	3,075	12.8
販管費(研究開発費除く)	19,392	19,143	△249	△1.3
研究開発費	4,631	7,957	3,325	71.8
営業利益	4,153	2,100	△2,053	△49.4
経常利益	4,338	2,200	△2,138	△49.3
当期純利益	2,611	1,200	△1,411	△54.0

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2012年3月期	2013年3月期	増減
	通期	通期予想	
売上原価	42.2	43.7	1.5
販売費及び一般管理費	49.3	52.3	3.0
研究開発費	9.5	15.3	5.8
営業利益	8.5	4.0	△4.5
経常利益	8.9	4.2	△4.7
四半期純利益	5.4	2.3	△3.1

【対前期実績増減要因】

売上高 (51,900百万円 対前期+3,182百万円)

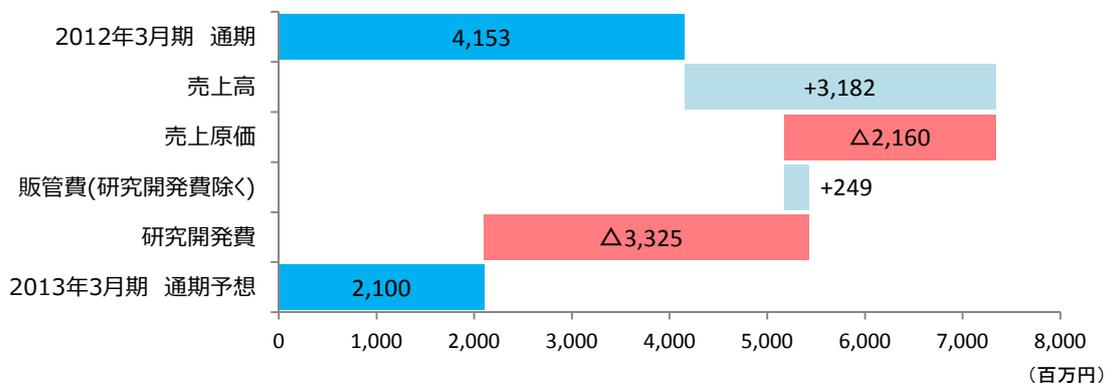


主な増減要因

HIV領域	: ツルバダ配合錠	+1,844百万円
腎・透析領域	: レミッチカプセル	+1,974百万円
	: ケイキサレート	+549百万円
その他	: 注射用フサン	△811百万円
	: ユリノーム錠	△428百万円

※詳細はP9「②製商品別・領域別売上高」を参照

営業利益 (2,100百万円 対前期△2,053百万円)



主な増減要因

売上原価	: 売上高の増加
研究開発費	: 臨床試験費用 (TO-203) の増加

経常利益 (2,200百万円 対前期△2,138百万円)

特記事項：特になし

当期純利益 (1,200百万円 対前期△1,411百万円)

特記事項：特になし

② 製商品別・領域別売上高

a. 製商品別売上高

(単位:百万円)	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期予想	増減額	増減率 (%)
製商品売上高	48,489	51,680	3,190	6.6
ツルバダ配合錠 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]	9,945	11,790	1,844	18.5
レミッチカプセル 経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]	9,735	11,710	1,974	20.3
アンテベート ※ 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]	6,584	6,780	195	3.0
注射用フサン ※ 蛋白分解酵素阻害剤 [その他]	5,131	4,320	△811	△15.8
ユリノーム錠 ※ 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [その他]	3,238	2,810	△428	△13.2
ケイキサレート ※ 高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]	1,540	2,090	549	35.6
ビオスリー 活性生菌製剤(整腸剤) [その他]	1,712	1,870	157	9.2
ドボネックス軟膏 尋常性乾癬治療剤 [皮膚疾患領域]	1,808	1,790	△18	△1.0
ゼフナート 抗真菌薬 [皮膚疾患領域]	1,403	1,440	36	2.6
ロコイド ※ 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]	1,344	1,350	5	0.4
マグセント 切迫早産における子宮収縮抑制剤 [その他]	1,188	1,310	121	10.2
その他製商品	4,857	4,420	△437	△9.0

※ 自社品

b. 領域別売上高

(単位:百万円)	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期予想	増減額	増減率 (%)
製商品売上高	48,489	51,680	3,190	6.6
HIV領域 〔ツルバダ配合錠、その他HIV治療薬〕	10,474	12,230	1,755	16.8
腎・透析領域 〔レミッチカプセル、ケイキサレート〕	11,276	13,800	2,523	22.4
皮膚疾患領域 〔アンテベート、ドボネックス軟膏、ゼフナート、ロコイド〕	11,139	11,360	220	2.0
その他 〔注射用フサン、ユリノーム錠、ビオスリー、マグセント、その他製商品〕	15,599	14,290	△1,309	△8.4

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期予想	増減	増減率 (%)
自社品売上高	19,856	19,540	△316	△1.6
自社品比率 (%)	41.0	37.8	△3.2	—

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期予想	増減額	増減率 (%)
設備投資額	849	1,262	412	48.5
有形固定資産	613	1,105	491	80.2
無形固定資産	236	157	△79	△33.7

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に製造設備への投資

無形固定資産：主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期予想	増減額	増減率 (%)
減価償却費	1,194	1,060	△134	△11.3

⑤ 配当

		2012年3月期 通期	2013年3月期 通期予想	増減	増減率 (%)
1株当たり配当金	(円)	40	40	0	0.0
配当性向	(%)	43.4	94.3	50.9	—

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起